

# 令和3年度 全国学力・学習状況調査について

令和3年5月27日に3年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の結果をまとめたものです。

## 1 本校の生徒の学力状況の概観

今年度の本校の全国学力・学習状況調査では、国語・数学ともに、全国の平均正答率を上回る結果となりました。正答数の少ない層の割合が全国平均よりも少なくなるなど、学力の二極化の傾向がみられた本校において改善の傾向がみられますが、学習内容の基礎・基本を着実に定着させることについては一層の工夫と配慮が必要であると捉えています。

今後は更に、個々の学習状況を的確に把握しつつ、「物事を多角的に捉え、学びを深めることができる生徒の育成」を目指し、「深い学び」を体感できる授業づくりを推進しながら、学力の向上に努めてまいります。

## 2 各科目の分析結果と課題及び改善の方策

### 【国語】

＜分析結果と課題＞ ○→成果 ▲→課題

- 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域で高い結果が出ている。特に文脈に即して漢字を正しく読むことや歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むこと、文の成分の照応について理解できている。
- ▲「読むこと」の領域に関わり、文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ部分において課題がみられる。

### ＜改善の方策（国語）＞

- ・ テーマを決めてのミニ作文や朝読書の本の内容を簡単な文章で紹介するなどの学習を取り入れ、自分の考えについて、根拠を明確にして表現する活動を充実させる。
- ・ ペアやグループによる学習を通して、考えを伝え合う、質問し合う中で、表現の内容や伝え方を助言し合うなど、お互いに学び合う活動を充実させる。
- ・ 漢字や語句についての基礎・基本を確実に定着させるため、既習事項の学び直しの場面を設ける。

### 【数学】

＜分析結果と課題＞ ○→成果 ▲→課題

- 「資料の活用」の領域で中央値の意味や階級の度数を求めることができている。
- 目的に応じた式変形や、与えられた表やグラフから必要な情報を適切に読み取ることができている。
- 基本的な計算の技能や用語の理解が定着している。
- ▲事象を考察することを通して、見出した事実を適切に説明することに課題がみられる。
- ▲データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がみられる。

### ＜改善の方策（数学）＞

- ・ 既習事項を確認する復習プリントや小テスト、チャレンジテスト等で学習内容の定着状況を細かく把握し、既習事項の学び直しや基礎基本の確認を継続的に行う。
- ・ グループ学習などを通して、授業の中に答えを求めるまでの過程や、考え方の根拠となる事柄を明らかにして理由を説明する活動を組み入れる。

### 3 生徒質問紙の分析結果と課題及び改善の方策

＜分析結果と課題＞ ○→成果 ▲→課題

- 「自分にはよいところがあると思う」「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている」「はじめは、どんな理由があっても許されないことだと思う」と回答した生徒の割合が、全国平均を上回っている。
- 「よく家で自分で計画を立てて勉強している」「学校が休みの日に1日1時間以上勉強する」「1日あたりテレビゲームをする時間は2時間より少ない」と回答した生徒の割合が、全国平均を上回っている。
- 「新聞をほぼ毎日読んでいる」「毎日、同じくらいの時刻に寝ている・起きている」と回答した生徒の割合が、全国平均を上回っている。
- ▲「国語の勉強は好きだ」「数学の勉強は好きだ」「国語の勉強は大切だ」「数学の勉強は大切だ」と回答した生徒の割合が全国平均を下回っている。
- ▲「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した生徒が、全国平均を下回っている。
- ▲「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」「自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができる」と回答した生徒が、全国平均を下回っている。

＜改善の方策（生徒質問紙）＞

- ・家庭学習の取組を全校的に進め、習慣化を図ると共に、ノートの添削指導やラインズeライブラリ、スタディサプリを活用した家庭学習のサポートを家庭の理解と協力を得ながら進める。
- ・生徒会や学年協議会等の組織を機能させた生徒の自主的な活動やボランティア活動を通して、達成感や満足感が得られるよう活動を支援する。
- ・授業や特別活動において、「話し合う活動」を意図的に組み込み、仲間とのかかわり合いを通して主体的に学んだり活動したりする力を身に付けさせ、学習や諸活動への意欲を高める。
- ・「学校」「家庭」「地域」との連携を深め、様々な角度から子どもたちを見守るとともに、各種のアンケート等の結果を踏まえながら、望ましい生活習慣を定着させる。
- ・生徒や保護者との信頼関係を構築するため、「寄り添う指導」を推進し、きめ細かな連携を図る。